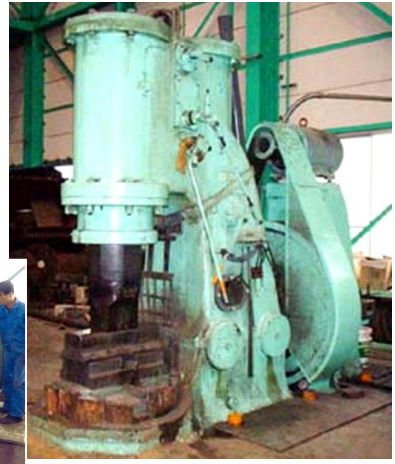


かわさき区の宝物シート

宝物No.	にぶんのいっとはんまー
18-2	1/2トンハンマー(近藤鉄工所)

エリア	大師地区	シーズン	通年
	千鳥・水江	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物



写真提供：(株)近藤鉄工所

所在地	川崎区水江町6-14
問い合わせ	(株)近藤鉄工所
TEL	044-288-0681
FAX	044-288-0682
E-mail	
URL	http://www.netlaputa.ne.jp/~kiw/
交通	JR川崎駅からバス「水江町」下車徒歩2分



基礎情報

■昭和29年(1954)製、1/2トンエアハンマー(ベッヘ型)は、(株)近藤鉄工所において銅・チタンなど非鉄金属の鍛造に使用されている大型ハンマー。鍛造とは、「鍛=きたえる」、「造=形を造る」の字のとおり金属を叩いて形を整えながら強くすること。例えば「刀鍛冶」は金属を炉で加熱し、真っ赤に焼いたものを叩いて刀の形を造っていく。これが近代化したのが現在の「自由鍛造業」で、最近では形を造るだけでなく、金属塊の泡や気孔を圧着させ結晶粒を微細化することで金属組織を改善することを目的とする場合もある。

由来・エピソード

■昭和5年(1930)大田区羽田で創業し、昭和34年(1959)に川崎区日ノ出町に移転して(株)近藤鉄工所を設立。昭和47年(1972)に750トン油圧プレスと1/2トンエアハンマーが増設された。平成13年(2001)に現在の水江町・川崎ゼロ・エミッション工業団地に移転した。水江町は埋立地で軟地盤であったため、通常は地下15m位のところを60mまでボーリングし、72本の杭を打ち込み地盤を安定させてからハンマー装置を設置したという。

■鍛造には、金属を炉で熱して叩く「熱間鍛造」と加熱せず常温で行う「冷間鍛造」があり、この1/2トンハンマーは熱間鍛造に使用される。ハンマーでの鍛造作業は5人1組で行い、加熱処理した金属部材を反しながら1分間に100回ほど打ち付けて成型していく。

■鍛造の歴史は古く、紀元前4000年前よりエジプトやメソポタミアで自然産の金、銀、銅を叩き、装飾品や武器などが造られたのが始まりといわれる。その後、主に武器の製造とともに鍛冶の技術も発達し、日常生活の道具や農耕具が鍛造によって造られるようになった。現在、鍛造品は主に一般産業プラント部品、電力部品、半導体部品、航空機や船舶、身近なものでは刃物類やゴルフクラブなど、様々な場所や物に使われている。鍛造はひとつの貴重な製法として確立されている。

補足・その他

- 操業に支障のない範囲で見学可能(要事前申込)。
- 近藤鉄工所は、異業種間の連携によって排出物の再利用と再資源化、エネルギーの有効利用を進めている資源循環型「川崎ゼロ・エミッション工業団地」の一員となっている。

関連シート

- (18-3)ふいご(近藤鉄工所)
- (18-4)川崎ゼロ・エミッション工業団地